

事業群評価調書(平成29年度実施)

基本戦略名	5 次代を担う子どもを育む	事業群主管所属	総務部学事振興課
施策名	(3) 学力の向上と個性を活かした教育の推進	課(室)長名	松尾 信哉
事業群名	魅力ある私立学校づくりの推進	事業群関係課(室)	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文) 県内の高校生の約3割が私立高校に通学するなど、私立学校は本県の公教育の一翼を担っています。建学の精神に基づいた、私立学校の独自性・自主性を尊重しながら、魅力ある学校づくりを支援します。					(取組項目) )教育の振興と魅力ある私立学校づくりのための支援	
指 標		最終目標(H32)	目標(H28)	実績(H28)	達成率	(進捗状況の分析) 急激な少子化の進行、経済の低迷等により、私立学校を取り巻く環境は厳しい状況にある。平成28年度は、学校の経常費や活性化事業に対する助成を行い魅力ある学校づくりを支援した結果、教育課程・学習指導、キャリア教育、生徒指導などの項目からなる学校評価(自己評価)の平成28年度の実績は、最終目標値(3.4以上)を達成しており、概ね順調に進んでいる。
事業群	学校評価(自己評価)の評価数値(4段階評価)	3.4以上	3.3	3.4	103%	
その他	関連指標					

2. 28年度取組実績(H29新規・補正は参考記載)

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業対象	事業概要 28年度事業の実施状況 (29年度新規・補正は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				28年度事業の成果等	中核事業	
			H28実績	一般財源	人件費(参考)			指標	主な目標	H28目標	H28実績			達成率
取組項目	高等学校私立学校助成費 学事振興課	S45-	4,457,194	3,803,954	17,422	学校法人 (高等学校設置)	私立高等学校等の運営に要する経費の一部を助成するとともに、特色ある学校づくりを支援した。	活動指標	補助対象法人数	22	22	100%	私立高等学校を設置している学校法人に対して経常費等の補助を行う等により、経営の安定と教育の振興に寄与した。	
			4,516,088	3,857,339	9,957			成果指標	新入生の定員充足率 対前年比(%)	100	103.1	103%		
	中学校私立学校助成費 学事振興課	H12-	593,651	507,467	5,361	学校法人 (中学校設置)	私立中学校の運営に要する経費の一部を助成するとともに、スクールカウンセラー等の配置に対し支援を行った。	活動指標	補助対象法人数	8	8	100%	私立中学校を設置している学校法人に対して経常費等の補助を行う等により、経営の安定と教育の振興に寄与した。	
			676,326	515,230	8,747			成果指標	新入生の定員充足率 対前年比(%)	100	96.2	96%		
	小学校私立学校助成費 学事振興課	H12-	181,978	154,668	5,361	学校法人 (小学校設置)	私立小学校の運営に要する経費の一部を助成するとともに、スクールカウンセラー等の配置に対し支援を行った。	活動指標	補助対象法人数	3	3	100%	私立小学校を設置している学校法人に対して経常費等の補助を行う等により、経営の安定と教育の振興に寄与した。	
			208,489	157,635	8,747			成果指標	新入生の定員充足率 対前年比(%)	100	88.2	88%		
									100					

取組項目	専修学校私立学校助成費	H12-	14,795	14,795	1,608	学校法人 (専修学校設置)	私立(学校法人立)の専修学校に対し、運営費の一部を助成した。	活動指標	補助校数	17	17	100%	私立専修学校を設置している学校法人に対して経常費の補助を行うことにより、経営の安定と教育の振興に寄与した。
	学事振興課		15,732	15,732	1,614			成果指標	在籍生徒数の対前年度比(%)	100	94.1	94%	

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

教育の振興と魅力ある私立学校づくりのための支援

・私立学校に対し助成を行うことにより、経営の安定及び教育の振興を図るとともに、特色ある学校づくりを推進している。その結果、中学校・高等学校の平均の志願倍率は3倍を超えているものの、高等学校に係る定員充足率については、近年低下傾向にある。今後の中学卒業生の減少見込を踏まえれば、魅力ある学校づくりに向けたさらなる取組の推進が必要である。

高等学校 志願倍率 H28:3.1倍 H29:3.1倍  
定員充足率 H28:94.1% H29:93.4%  
中学校 志願倍率 H28:5.4倍 H29:5.5倍  
定員充足率 H28:88.7% H29:87.6%  
小学校 志願倍率 H28:0.7倍 H29:0.7倍  
定員充足率 H28:47.9% H29:48.5%

・私学の多様な特色を維持・発展させることで、児童生徒・保護者の選択肢の拡大や学校の魅力向上だけでなく、本県における多様な人材の確保につながる。

・私立高等学校においては、平成27年度から実施している「魅力ある私立学校づくり支援事業」により、特色ある学校づくりを促進している。学校の取組については、これまで行っている事業の繰り返しや在校生の満足度を成果の指標としている等、事業の新たな展開において課題があったため、事業採択にあたっては、今後さらなる内容の精査が必要である。

・また、大幅な定員割れが続いている学校については、今後の定員の見直しの検討について指導を行っていく。

### 4. 29年度見直し内容及び30年度実施に向けた方向性

取組項目	事務事業名	29年度事業の実施にあたり見直した内容 (H29の新たな取組は「H29新規」等と記載、見直しがない場合は「-」と記載)	30年度事業の実施に向けた方向性		
			事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目	高等学校私立学校助成費			私立学校は、公教育の一翼を担っている一方、少子化等により学校法人の運営はますます厳しくなっているため、今後とも本事業を継続していく必要がある。高等学校の運営費に係る助成のあり方については学校の努力に応じた配分となるよう生徒数を算定基礎としており、認可定員を基準とした充足率が7割を下回れば補助金不交付という制度を導入している。また、県内の中学3年生人口の減少が見込まれる中、私学経営の根本をなす生徒数確保の困難さが増しており、私立学校がそれぞれ独自の魅力を高める必要性は、ますます高まっていることから、高校における魅力向上に向けた取組への支援の実効性を高めるため、事業内容などの見直しを検討していく。	改善
	中学校私立学校助成費			私立学校は、公教育の一翼を担っている一方、少子化等により学校法人の運営はますます厳しくなっているため、今後とも本事業を継続していく必要がある。保護者負担の軽減及び私立学校の活力と魅力を高めることにより、本県教育の充実を図っていく。	現状維持
	小学校私立学校助成費			私立学校は、公教育の一翼を担っている一方、少子化等により学校法人の運営はますます厳しくなっているため、今後とも本事業を継続していく必要がある。保護者負担の軽減及び私立学校の活力と魅力を高めることにより、本県教育の充実を図っていく。	現状維持
	専修学校私立学校助成費			卒業生の多くを県内に就職させるなど、県内企業を支える大きな役割を担っている専修学校のうち、専門的な職業教育を中心に実施する学校に限定して経費補助を行っており、教育の振興を図る意味から不可欠な事業であり、今後も同様の手法により事業を継続する。	現状維持